



2015～16 年度
国際ロータリー会長
K. R. ラビンドラ

Weekly Report Niigata



世界へのプレゼントになろう

2015～16 年度 国際ロータリーのテーマ



2015～16 年度
新潟ロータリークラブ会長
竹石 松次

新潟 RC4月第 2 例会 (2016.4.12) No.3130

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 竹石 松次 会長挨拶

遠藤 実

大正十二年 (1923) ～平成二十年 (2008)

東京都南葛飾郡吾妻町生まれ、父の仕事が上手いかず新潟と東京での生活が続いた。そして、疎開先の新潟で少年時代を過ごす。二十四年上京、演歌師をしながら独学で作曲を勉強、三十二年「お月さん今晚わ」のヒットを機に本格的な作曲活動に入る。

平成十八年 (2006) 六月、自らの人生を新聞に掲載、その模様に加筆した本が翌年出版された「涙の川を渉るとき」である。

五歳の時、新潟市西蒲区 (旧西蒲原郡曾根町) の夜の祭りに父遠藤直治、母ジウ、長男栄一、次男実、長女美和子が鎮守の森の祭りに出かけた。神社の境内ではお祝いの酒盛りをしていた大人が酒盛りに出席しようという勢いで遠藤一家を跳ね飛ばしてしまったが、貧乏生活であった遠藤家は静々と引き返すだけだった。この時、いつか大人になって父ちゃんにいっぱい酒を飲ませたいと誓ったという。

父の直治さんは、田舎で射的場や、炭の行商、鉄工所に勤めたが長続きせず一家は光熱費も払えないほどの生活環境にあった。

通信教育で中学校を卒業、紡績工場に就職する一方、弁当のおかずにも困る困窮で、夜は好きな音楽、取分け演歌を得意として、門付けやアマチュアのバンドを結成して素人のど自慢に徹した。「東京の花売り娘」「長崎のザボン売り」を得意としていたという。

そんな少年は、将来の夢を実現するため裸一貫で両親や、兄弟に無断で赤塚村の花火大会の夜、赤塚駅から列車の乗り東京を目指した。昭和二十四年七月友人の家に居を構え、ワカメの行商からスタートした。その後、タイル張り、鉄屑回収、トラックの作業員と苦労の連続で、それでも歌手の夢は捨てず、流しをしながら「東京の花売り娘」「夜のプラトホーム」憧れのハワイアン航路」を披露した。リクエストは「人生劇場」「無情の夢」「明治一大女」「酒は涙か溜息か」であった。

その後、アメリカに行くと言って出掛けたもののついた先は名古屋で、そこで流しをやったことでとがめられ、そこで披露した自作自演の歌を披露して褒められたことから、

東京に戻り再び流しに戻り新潟の実家への仕送りを続けた。

結婚して歌手になるためのオーディションを受けるが合格することはなく、遂に歌手をあきらめ作曲家として再出発することにした。

だがそう簡単に曲が作れる程世間は甘くなかった。同じ仲間に貸した曲がレコードになったものの、自分の手をはなれてしまうなどどうすることもできない日が続いた。

そして、昭和三十二年、遠藤実で発表した藤島恒夫さんが歌った「お月さん今晚わ」、松村又一氏作詞がヒットし、上京して七年目、漸く二十四歳の一人の作曲家が誕生した。

やがて、西沢爽作詞の「からたち日記」を作曲。島倉千代子さんのヒット曲となった。

「ここで好きと 叫んでも 口ではいえず ただあの人と・・・」

このメロディがラジオから流れるようになった。

やがて、こまどり姉妹の「浅草姉妹」「三味線姉妹」、舟木一夫の「高校三年生」、小林旭の「アキラのズンドコ節」、橋幸夫の「潮来笠」、そして、新潟市の浪曲子守唄、小林幸子の「雪椿」、千昌男の「北国の春」で押しも押される作曲家の地位を確保した。

その後、レコード会社を経営するなどしたが、ふるさと新潟での凱旋公演、内野町での『実昌館』の設立、平成五年には文化功労者に選ばれた。

平成二十年 (2008) 十二月六日、七十六歳で亡くなる。作曲数は六千曲とも。

「人の世に涙の川があり

苦労の山もある

その川を渡るとき

その山を越えるとき

歌という友がいる・・・・・・・・・・」

(3) ゲストの紹介

樋熊須美子さん、登坂幸子さん、高橋歩さん、塚田春江さん、塚田忠幸さん (2004～2005 年ブラジル 1 年派遣交換学生)、木滑紀美子さん、竹石宏子さん、徳永成子さん、吉田奈美さん、本多 文子さん、新潟 RAC の皆さん

(4) ニコニコボックス紹介(竹田 正弘委員)

・新田 幸壽君 4月10日、結婚記念日の豪華なお花頂きました。ありがとうございました。4月10日は娘の誕生日でもありました。又、4月10日は第1回角田山一周ハーフマラソン大会に出場し、後半13キロ地点からの標高差約200mの3キロの登坂で消耗甚だしくふらふらのゴールでした。1週間前ランニング中に転倒し顔面制動、顔、手、膝に打撲傷擦過傷を作り出場が危ぶまれましたが、何とか完走することが出来ました。

・玉 知夫君 先週は前橋ロータリークラブでの観桜会に、20人参加。そして本日は我がクラブの観桜会、サクラ満開のもとニコニコです。

・龍田 晃一 ローターアクトの田中雄一さんと田中めぐみ(旧姓 東條さん)のご結婚を祝してニコニコします。

4月12日例会の出席率 68.48 %
 会員数99名(出席免除会員 9名)
 出席者63名(出席免除会員 3名を含む)
 (2週間前メーク後 85.57 %)

4月26日の例会予定

卓話「TPPの概要と活用に向けて」
 一般財団法人 新潟経済社会リサーチセンター
 主管研究員 神田 恵 氏

懇 親 会 次 第

バイオリン 佐々木友子、庄司 愛
 ピアノ 濱田 道子

♪佐々木友子 童謡 春が来た 演奏で登場

庄司 愛 童謡 さくら 演奏で登場

18:40 司会 懇親会開会 パワポ 乾杯の音頭

♪ 花 パッヘルベル カノン他 談のBGMとして

司会 紹介 インビュー 演奏者プロフィール紹介

19:30 頃♪M バイオリン&ピアノ

♪ ビバルディ 春1楽章 エルガー 愛のあいさつ

*歓談

20:10 頃♪M モンティ チャルダッシュ

ハルボルセン コンサート奇想曲

*アンコール

♪M バイオリン&ピアノ エルガー 威風堂々

20:20 外 中締め

♪ 手に手つないで ピアノ(濱田)

20:30 お開き

恒例の観桜夜例会が、12日イタリア軒のサンマルコで開催されました。参加者は82人、その内、ローターアクトからは7人。アクトの田中雄一さんとめぐみさんの結婚報告というハプニングに祝福と声援が送られました。新潟出身で活躍中のバイオリニスト、佐々木友子さんと庄司愛さんがスペシャルゲスト。そして、会場の壁面には新潟県内名所のサクラが大写しにという演出。ヴィヴァルディの『春』に始まり、エルガーの『威風堂々』そして『手に手つないで』にも濱田道子さんのピアノにバイオリンも参加、少しお洒落な雰囲気を楽しんでいただいた春の一夜となりました。

